



地域の未来を守る活動が評価 田井小学校が新潟県環境賞を受賞

地域の優れた環境保全活動を表彰する「環境に関する表彰」で、田井小学校が地球温暖化部門で新潟県環境賞を受賞しました。11月12日、代表児童2人が長谷川教育長に受賞を報告しました。

田井小児童は「EWS TAI ! (ECO WELLNES SCHOOL TAI)」を合言葉に、教職員や地域の人と協力して環境保全活動に取り組んできました。児童は、2年前から全校児童や地域に呼びかけ約3万個のペットボトルキャップを回収。6年前からは、校地内での植樹・環境整備活動にも力を入れています。

長谷川教育長に受賞を報告した6年生の長谷川菜耶さんと平井花菜羽さんは、「田井町が自然豊かな町になるように、これからも活動を続けていきたいと思います」と話していました。



左から、長谷川教育長、田井小6年の長谷川菜耶さん、平井花菜羽さん、外山孝校長

34年間の文化財保護活動が評価 淡路久雄さんに新潟県知事表彰



11月22日、県の経済や社会、文化の発展などに大きな功績のあった人を表彰する令和元年度県知事表彰式で、見附市文化財保護審議会委員の淡路久雄さん（釈迦塚町）が県知事表彰を受けました。

淡路さんは昭和60年から34年にわたり、市内の歴史資料の解読や記録作業を続けてきました。地元の釈迦塚町の「浅野家文書」など、これまで解読してきた古文書は約2万点。公民館で古文書講座の講師として活躍するほか、『見附市史』の編纂にも関わるなど、見附の歴史研究の第一人者として活躍してきました。

淡路さんは、「古文書の面白さは、当時の人の考え方やさまざまなエピソードが分かること。今後は、これまで収集してきた資料を整理して、まとめていきたいです」と話していました。

市内初開催 カレー研究家一条もんこさんのカレー作り講座

12月4日、見附出身のカレー研究家一条もんこさんのカレー作り講座が、勤労者家庭支援施設ふぁみりあで開催されました。

全国各地でカレーやスパイス料理の教室を開催している一条さん。講座では、カレーの豆知識や、材料費を抑える代用品術などを解説しました。カレー作りの指導では、スパイスや生クリームの量などを参加者にアドバイス。参加者は、一条さんの指導のもと、グループごとにオリジナルのカレー作りを楽しんでいました。

参加した河村美恵子さん（葛巻2）は、「カレー粉でこんなに簡単にカレーが作れるとは思いませんでした。家でも作って家族にも味わってもらいたいです」と話していました。



一条さんは、「同級生も参加してくれうれしかったです。地元なので、教えていて親近感がわきました」と振り返っていた



起業体験の一環として 西中学校3年生がネーブルみつけに飲食店を出店



11月17日（見附子育て教育の日）、西中学校3年生が、自分たちの考案したフレンチトーストやカレーなどを販売する企画がネーブルみつけで行われました。

勤労の尊さや商売を行う上での金銭感覚を学ぶ「起業体験学習」の一環。今年7月から、3年生はグループごとに会社組織を立ち上げ、社長・会計・製造部・販売部に分かれて販売計画を議論。商品や企業理念などを決め、利益を上げるための原価計算を行い、株主になってもらった保護者から資金を調達して商品開発を進めてきました。

当日は、グループごとに6店舗をオープンし、販売担当の生徒が大きな声で自分たちの商品をアピール。各店舗の前には長蛇の列ができ、商品が一時品切れになるなど賑わいを見せていました。

カレーを販売したグループの社長を務めた小師慶大さんは、「一部の野菜は知り合いの農家から格安で仕入れ、地元野菜のおいしさを生かしたカレーにして売り上げ利益が出るように工夫しました。メンバー全員で話し合い、協力して取り組んだことが、今日の成果につながったと思います」と話していました。

たくさんの思い出をありがとう 見附市海の家「海・海ハウス」で最後の感謝祭

令和2年3月31日をもって閉館する海の家「海・海ハウス」（長岡市）で12月1日、最後の感謝祭が行われました。

感謝祭には、長年海の家を愛用してきたグループや家族連れなど135人が来館。参加者は、大浴場や海産物料理などを楽しみながら、海の家での思い出話を楽しんでいました。

海の家は、昭和44年に寺泊郷本の廃校を市が引き取って開設。昭和60年4月に、今の形に建て替えられました。その後は市内小学校の臨海学校や市内町内会の宿泊先などに利用され、多くの市民に親しまれてきました。しかし、近年は利用者の減少で運営維持費の確保が困難になり、建物の老朽化も進行。安全な運営には億単位の修繕費が見込まれることもあり、9月市議会において閉館が決定しました。

友人と訪れた池田ヨリさん（昭和町1）は、「カラオケや宿泊など、友人と一緒に何度も利用しました。これで最後だと思うと、さびしく思います」と、海の家での思い出を振り返っていました。

※3月31日までは、海の家は通常通り利用できます



1 あこぎ団（新潟市）が「乾杯」や「この広い野原いっぱい」などの名曲を演奏 2 海の家を利用した子どもたちからの手紙が並ぶ 3 カニやイカなどの海産物料理を堪能

